

今思ひつきな
御進物 ヤマ

品 質 日 本 一

上

子 屋 組 子 町

文壇的生命卅年 家庭小説の第一人者 自然に高潮する悲劇 深い人情味
 しい人生観 高い藝術の香 筆致の優雅 省察の犀利 批判の端嚴 永久

迫切

▲第一卷 己が罪 ▲第九卷 お夏文代
 ▲第二卷 乳姉妹、寒潮 ▲第十卷 須磨子
 ▲第三卷 月魄 ▲第十一卷 忘れがたみ
 ▲第四卷 家なき兒 ▲第十二卷 女の行方
 ▲第五卷 百合子 ▲第十三卷 白蓮紅蓮
 ▲第六卷 小雪 ▲第十四卷 短篇及自叙傳
 ▲第七卷 毒草 ▲第十五卷 戀を裏切つ女
 ▲第八卷 女の生命 彼女の運命

□本書は愛宕野の著
 □市松金 金四郎也
 □勝込金 毎月三圓
 □一時券 金五十五
 □外に送料を要
 大正十三年
 上り毎月三

□郵 站
 □刊 行

幽芳全集は先生の出世作なる不朽の著「己が罪」を始め、現に大阪毎日、市連掲され、異常の好評を博しつゝある傑作彼女の運命に至るまで三十年先生の力作全部を網羅す。

豫約 十二月二十五日限

東京市麹町區内町二丁目
振替東京 五二二九八番 國民圖書株

欠

臨時帝國議會

政府の誠意を疑ふ

と前提して勝田氏政府に對する

貴族院豫算總會

大内正敏子

宮内省

田中良平氏

中央金庫役員

京畿道評議會

朝鮮の小麦と麥粉

火保案は修正しても

形を變へ來議會に提出

莫大なる影響を及ぼす

世界財政經濟の趨勢

世界財政經濟の趨勢

世界財政經濟の趨勢

世界財政經濟の趨勢

世界財政經濟の趨勢

世界財政經濟の趨勢

世界財政經濟の趨勢

世界財政經濟の趨勢

世界財政經濟の趨勢

世界財政經濟の趨勢

世界財政經濟の趨勢

世界財政經濟の趨勢

世界財政經濟の趨勢

世界財政經濟の趨勢

世界財政經濟の趨勢

世界財政經濟の趨勢

世界財政經濟の趨勢

世界財政經濟の趨勢

世界財政經濟の趨勢

支那人

支那人の支那

支那人の支那

支那人の支那

支那人の支那

支那人の支那

支那人の支那

支那人の支那

支那人の支那

支那人の支那

支那人の支那

支那人の支那

支那人の支那

支那人の支那

支那人の支那

支那人の支那

支那人の支那

支那人の支那

支那人の支那

支那人の支那

支那人の支那

支那人の支那

支那人の支那

支那人の支那

支那人の支那

支那人の支那

支那人の支那

支那人の支那

支那人の支那

支那人の支那

支那人の支那

支那人の支那

貴院本會議

松本法制局長官

水野錬太郎氏

後藤内相

火保委員會再會

國際會議召集

仲裁條約更新批准

アセス王政廢止

英勞農露國承認

日支攻守同盟交渉

豫算上院通過

豫算上院通過

豫算上院通過

豫算上院通過

豫算上院通過

豫算上院通過

豫算上院通過

豫算上院通過

豫算上院通過

豫算上院通過

豫算上院通過

豫算上院通過

豫算上院通過

豫算上院通過

豫算上院通過

豫算上院通過

豫算上院通過

豫算上院通過

豫算上院通過

豫算上院通過

豫算上院通過

豫算上院通過

善なる鮮人は保護した

震災當時の鮮人に對する當局の措置

中央金庫役員

京畿道評議會

朝鮮の小麦と麥粉

火保案は修正しても

形を變へ來議會に提出

莫大なる影響を及ぼす

世界財政經濟の趨勢

世界財政經濟の趨勢

世界財政經濟の趨勢

世界財政經濟の趨勢

世界財政經濟の趨勢

世界財政經濟の趨勢

世界財政經濟の趨勢

世界財政經濟の趨勢

世界財政經濟の趨勢

世界財政經濟の趨勢

世界財政經濟の趨勢

世界財政經濟の趨勢

世界財政經濟の趨勢

世界財政經濟の趨勢

世界財政經濟の趨勢

世界財政經濟の趨勢

世界財政經濟の趨勢

世界財政經濟の趨勢

世界財政經濟の趨勢

世界財政經濟の趨勢

世界財政經濟の趨勢

世界財政經濟の趨勢

世界財政經濟の趨勢

世界財政經濟の趨勢

豫算上院通過

豫算上院通過

豫算上院通過

豫算上院通過

豫算上院通過

豫算上院通過

豫算上院通過

豫算上院通過

豫算上院通過

豫算上院通過

豫算上院通過

豫算上院通過

豫算上院通過

豫算上院通過

豫算上院通過

豫算上院通過

豫算上院通過

豫算上院通過

豫算上院通過

豫算上院通過

豫算上院通過

豫算上院通過

豫算上院通過

豫算上院通過

豫算上院通過

豫算上院通過

豫算上院通過

豫算上院通過

豫算上院通過

豫算上院通過

豫算上院通過

豫算上院通過

豫算上院通過

豫算上院通過

豫算上院通過

豫算上院通過

豫算上院通過

豫算上院通過

豫算上院通過

豫算上院通過

豫算上院通過

豫算上院通過

豫算上院通過

豫算上院通過

豫算上院通過

豫算上院通過

豫算上院通過

豫算上院通過

豫算上院通過

豫算上院通過

豫算上院通過

豫算上院通過

豫算上院通過

豫算上院通過

豫算上院通過

豫算上院通過

豫算上院通過

豫算上院通過

豫算上院通過

豫算上院通過

豫算上院通過

豫算上院通過

豫算上院通過

豫算上院通過

北第四回道許議會は十一を挙げたる憲大體に於て院案を

式を舉行を望み一同異議なく可決
關北道評議會の本會議は一萬千里
の勞分を見て三、四三時で解決した

平安南道評議會第八日の
は昨日に引き続き議員各自の希
編入されたと聞く者は元地主

元穆氏の要略に移る、氏は時刻に
迫る故を以て脱も緊急を要する

【第三日十八日は午後一時
常第二款勸業費第一項種苗
米改良に五個計畫を樹てたる
及せしめんが爲めに農事發

あり十二時十九分休憩
▲第一建議案 本年は大水害の爲め多量の窮民を主とし非常困難

者金熙綽外六名

温泉

和田慶南道知事説

三千六百餘圓の減收を來す
りまするが

地方民の覺醒を望む

種類は主として小切手によるが、渡はまだ一枚もなかつた

大正十三年度豫算内容の減少となるので

一般には相
したが、從
洛東江護岸工事及び
甘川堤防修築工事と

同志會生

人命救助表彰

消化不良に因する總ての胃腸疾患並に栄養不良者に推奨せらる

宮城縣立病院内科部長故郷學博士島村二先生報告の一節に曰く「タカヂアスターム」は獨り胃腸病者
有效なるのみならず總ての栄養不良及一般虛弱者に與へて大なる效顯を有するものと信ず。と

※外邦藥家實験報告抄地並あり即中讀九國藥品誌。 ◆新米、乾肉及醬油の各種あり ◆各地有名商標にて購買す。

三井 出版所 關

東京堂
三共株式會社
出張所 大阪淡路町堺筋
國 臺北市 慶町

痔疾膏門 入院隨意
 京城久枝肛門病院
 京橋明治町一丁目三番地電話二二〇二番 院長出三三二番
 新築落成
 信川溫泉
 茶代廢止
 今回二階建新築落成し、清潔なる部屋増加して、温泉は透明にして、効驗頗る顯著し、而も絶好の避暑地也。沙里院隣りに輕鐵の便あり、自然の風光に富み、文化的娛樂機關の設備あり
 茶代續止
 特等大圓、一等四圓、二等三圓、三等二圓半
 經營者 平壤料亭玉屋

平山龜太郎 元山	宮崎又治郎 元山	北條屋株式會社 專務取締役 小室千代吉 威南永興邑	威南永興 永興公立普通 學校職員一同	岡田俊雄 元山	向井田善五郎 元山府	活年移出所 杉野多市 元山郡	西島商店 元山浦津町	赤田屋旅館 元山郡津路大砂濱通 明徳會社	御料理 清心亭 威南永興邑	永山武雄 威南永興	醫師 那須己來 威南永興邑	大島運送支店 店主 栗田辰一郎 威南永興浦前	鈴木直八 威南永興	磯谷鍾之助 威南永興邑	中島商店 日野人街雜貨商 威南永興				
吉田運轉會館 元山港都岸通	石原留吉 元山	御旅館 愛媛館 元山海岸通	元山運送組合	德源郡廳員一同	土木建築測量、製圖設計監督 滿鮮社 元山府城洞全元浦前	○ 御料理 上田宗太郎 元山仲町一丁目 第二 ○ よし 元山府前	安原瀧藏 威南永興	威興旅館組合 威南永興	威興慈惠院職員一同 威南永興	大興電氣株式會社 威南永興東陽里	威興煙草元賣捌所 威南永興西陽里	三浦眞 威南永興	土木建築製材業 合資 咸成組 代表社員 金光正市 墨石嶺黑鉛株式會社鑛業所主任	上野重三 威南永興	永興郡廳員一同	元山水產株式會社	元山水力電気株式會社	海城他人男 元山	第一區漁業組合 潛水漁業 元山港旭町
樋口佐吉 元山	岩崎虎三 威南永興	威興金融組合聯合會 威南永興	小野教明 威南永興	井上醫院 威南永興大和町	芝田印刷所 威南永興大和町	蘭牟田彦次郎 威南永興	北管間乗合自動車 威興自動車商會 威南永興軍需通	威興金融組合 威南永興	佐田建設所 技師 佐田實 威南永興	對馬助三 威南永興	增淵岩次郎 威南永興上	元山土曜會	足立組元山支店 元山港	威興運輸業組合 組合長 濱田四郎 威南永興	精米及貿易業 新上精米所 威南永興新上開前	威興炭帝國炭業株式會社 威南永興	威興遊廓組合 威南永興	地方法院永興支廳員一同	官公立山學校職員一同

上司小劍

すると、それが爲めに却て足

光多の足は、先づ六木木に

たりして、物物^{もの}が^たた^まな^まも

と平和に静まりかへつてゐる

薄く光多は花枝の父母の避難

ないて、焼け跡の方に、個々の小屋
 てる。変度に行つたとき、其家の

皆なさん御無事で何よりで

多はおぼえず筆を堵くした。

父母は少しばかり持ち出した



明あきらめたのだといふことであ

在を訊いた上、どうも右の

二重橋外の廣場は、平常の

阿母 他の不淨なものが一面に敷

ひ切つ　　ひも何もない、たゞ穴を掘
かりの急造所、こゝづくす

を雨か
磯峨純

申には生きていまに哀しと言ふは

奥深き杉の樹立をもれて野

1980-1981

發行所
東京之藏書
改造社
編輯長 三野
〇八二

245

此書實與實地。目下三野譯本未見。且此書與實地見單次總中列入題名附錄